

飛翔OB会

同窓会
会報

平成16年3月1日
第 11 号

「祝、卒業新生八工大二高を目指して」

校長 大久保 和兼



山田静前校長の勇退により、八工大一高校長よ

り転任して早や一年が経った。この間生徒達の活動には目を離るものがあつた。春より手こたえを感じ密かに期待していた各部の活躍である。高総体でのテニスの県下第二位、他各部共昨年の成績を一段も二段もアップ

させ、圧巻は秋季大会、野球部の初の県下ベスト四入りを果たしてくれた。又、伝統の二高祭、総じて工大一高では味わえない展開があり、感動的なファイナールを飾ることができた。

一方目を転ずると、国

を挙げての改革、変化の中で、教育現場にも次々と激流の波が押し寄せ、ややもすると翻弄されそうな状況下にある。

私は、入学した生徒が日々夢を持ち、目標を持って健康的で楽しく通える学校、国公立大に五十人は合格し、卒業して行く者が目標を叶えられ

まずは積極的に学び続ける必要があります。その上で果敢に様々な事に挑戦をしていただきたいと思ひます。

時に直面する困難から逃避せず困難こそ、己を大きく育てる「最良の教師」と捉え、若者らしく挑戦しつづけ、自分の人生、新しい時代を切り拓いてください。

学校評議員制、完全五日制、絶対評価、新教育課程、特色ある学校作り、公立高入試改革、外部評価、三学期又は二学期制等問題が山積みしている。八工大二高に取つては千載一遇の好機と取らえ

平成十六年度より実践可能な部分より移行し、

また、創立者の理念に基づき、教員の方々と生徒、保護者そして私たち同窓会が、志を同じくする者として、一人ひとりの生徒における未来の可能性を信じ、教育に取り組んでいくのが、私学の在り方ではないでしょうか。二高発展のために、今こそ、皆様のさらなる力の結集とご協力をよろしくお願いいたします。

学校改革委員会を立ち上

念事業協賛会を組織し、記念事業を計画しているところでありませう。

ご承知の通り、昨今の母校をはじめとする私学を取り巻く環境は、少子化と長引く不況の影響、さらには行政による補助金削減等により、年々悪化の傾向にあり、その事が教育の低下を引き起こしかねない現状にあります。しかしながら、国際化、情報化の伸展、環境問題の発生などによる複

ファッション甲子園全国第二位



さらなる力の結集を

同窓会会長 熊谷 雄一



卒業生の皆様、ご卒業おめでとうございます。

二高生卒業生としての自信と誇り、それぞれの明確な目標と夢を持ち、そ

して「凌雲の志」を忘れず、夢の実現に向かって力強く歩まれる事を心よりご期待いたします。

二高を卒業しても「学ぶ」という姿勢は生きていく限り永遠に求められます。学校においてはもちろんであり、実社会においても、日々の生活においても学ぶ材料はいくらでもあります。夢を実現させていくため、

志を忘れずにオンラインワ

卒業生の皆様、ご卒業おめでとうございます。二高生卒業生としての自信と誇り、それぞれの明確な目標と夢を持ち、そ

して「凌雲の志」を忘れず、夢の実現に向かって力強く歩まれる事を心よりご期待いたします。

二高を卒業しても「学ぶ」という姿勢は生きていく限り永遠に求められます。学校においてはもちろんであり、実社会においても、日々の生活においても学ぶ材料はいくらでもあります。夢を実現させていくため、

二高を卒業しても「学ぶ」という姿勢は生きていく限り永遠に求められます。学校においてはもちろんであり、実社会においても、日々の生活においても学ぶ材料はいくらでもあります。夢を実現させていくため、

二高を卒業しても「学ぶ」という姿勢は生きていく限り永遠に求められます。学校においてはもちろんであり、実社会においても、日々の生活においても学ぶ材料はいくらでもあります。夢を実現させていくため、

二高を卒業しても「学ぶ」という姿勢は生きていく限り永遠に求められます。学校においてはもちろんであり、実社会においても、日々の生活においても学ぶ材料はいくらでもあります。夢を実現させていくため、

二高を卒業しても「学ぶ」という姿勢は生きていく限り永遠に求められます。学校においてはもちろんであり、実社会においても、日々の生活においても学ぶ材料はいくらでもあります。夢を実現させていくため、

二高を卒業しても「学ぶ」という姿勢は生きていく限り永遠に求められます。学校においてはもちろんであり、実社会においても、日々の生活においても学ぶ材料はいくらでもあります。夢を実現させていくため、

二高を卒業しても「学ぶ」という姿勢は生きていく限り永遠に求められます。学校においてはもちろんであり、実社会においても、日々の生活においても学ぶ材料はいくらでもあります。夢を実現させていくため、

二高を卒業しても「学ぶ」という姿勢は生きていく限り永遠に求められます。学校においてはもちろんであり、実社会においても、日々の生活においても学ぶ材料はいくらでもあります。夢を実現させていくため、

二高を卒業しても「学ぶ」という姿勢は生きていく限り永遠に求められます。学校においてはもちろんであり、実社会においても、日々の生活においても学ぶ材料はいくらでもあります。夢を実現させていくため、

二高を卒業しても「学ぶ」という姿勢は生きていく限り永遠に求められます。学校においてはもちろんであり、実社会においても、日々の生活においても学ぶ材料はいくらでもあります。夢を実現させていくため、

二高を卒業しても「学ぶ」という姿勢は生きていく限り永遠に求められます。学校においてはもちろんであり、実社会においても、日々の生活においても学ぶ材料はいくらでもあります。夢を実現させていくため、

二高を卒業しても「学ぶ」という姿勢は生きていく限り永遠に求められます。学校においてはもちろんであり、実社会においても、日々の生活においても学ぶ材料はいくらでもあります。夢を実現させていくため、

二高を卒業しても「学ぶ」という姿勢は生きていく限り永遠に求められます。学校においてはもちろんであり、実社会においても、日々の生活においても学ぶ材料はいくらでもあります。夢を実現させていくため、

二高を卒業しても「学ぶ」という姿勢は生きていく限り永遠に求められます。学校においてはもちろんであり、実社会においても、日々の生活においても学ぶ材料はいくらでもあります。夢を実現させていくため、

二高を卒業しても「学ぶ」という姿勢は生きていく限り永遠に求められます。学校においてはもちろんであり、実社会においても、日々の生活においても学ぶ材料はいくらでもあります。夢を実現させていくため、

二高を卒業しても「学ぶ」という姿勢は生きていく限り永遠に求められます。学校においてはもちろんであり、実社会においても、日々の生活においても学ぶ材料はいくらでもあります。夢を実現させていくため、

二高を卒業しても「学ぶ」という姿勢は生きていく限り永遠に求められます。学校においてはもちろんであり、実社会においても、日々の生活においても学ぶ材料はいくらでもあります。夢を実現させていくため、

二高を卒業しても「学ぶ」という姿勢は生きていく限り永遠に求められます。学校においてはもちろんであり、実社会においても、日々の生活においても学ぶ材料はいくらでもあります。夢を実現させていくため、

二高を卒業しても「学ぶ」という姿勢は生きていく限り永遠に求められます。学校においてはもちろんであり、実社会においても、日々の生活においても学ぶ材料はいくらでもあります。夢を実現させていくため、

二高を卒業しても「学ぶ」という姿勢は生きていく限り永遠に求められます。学校においてはもちろんであり、実社会においても、日々の生活においても学ぶ材料はいくらでもあります。夢を実現させていくため、

二高を卒業しても「学ぶ」という姿勢は生きていく限り永遠に求められます。学校においてはもちろんであり、実社会においても、日々の生活においても学ぶ材料はいくらでもあります。夢を実現させていくため、

二高を卒業しても「学ぶ」という姿勢は生きていく限り永遠に求められます。学校においてはもちろんであり、実社会においても、日々の生活においても学ぶ材料はいくらでもあります。夢を実現させていくため、

二高を卒業しても「学ぶ」という姿勢は生きていく限り永遠に求められます。学校においてはもちろんであり、実社会においても、日々の生活においても学ぶ材料はいくらでもあります。夢を実現させていくため、

二高を卒業しても「学ぶ」という姿勢は生きていく限り永遠に求められます。学校においてはもちろんであり、実社会においても、日々の生活においても学ぶ材料はいくらでもあります。夢を実現させていくため、

二高を卒業しても「学ぶ」という姿勢は生きていく限り永遠に求められます。学校においてはもちろんであり、実社会においても、日々の生活においても学ぶ材料はいくらでもあります。夢を実現させていくため、

二高を卒業しても「学ぶ」という姿勢は生きていく限り永遠に求められます。学校においてはもちろんであり、実社会においても、日々の生活においても学ぶ材料はいくらでもあります。夢を実現させていくため、

二高を卒業しても「学ぶ」という姿勢は生きていく限り永遠に求められます。学校においてはもちろんであり、実社会においても、日々の生活においても学ぶ材料はいくらでもあります。夢を実現させていくため、

二高を卒業しても「学ぶ」という姿勢は生きていく限り永遠に求められます。学校においてはもちろんであり、実社会においても、日々の生活においても学ぶ材料はいくらでもあります。夢を実現させていくため、

二高を卒業しても「学ぶ」という姿勢は生きていく限り永遠に求められます。学校においてはもちろんであり、実社会においても、日々の生活においても学ぶ材料はいくらでもあります。夢を実現させていくため、

二高を卒業しても「学ぶ」という姿勢は生きていく限り永遠に求められます。学校においてはもちろんであり、実社会においても、日々の生活においても学ぶ材料はいくらでもあります。夢を実現させていくため、

二高を卒業しても「学ぶ」という姿勢は生きていく限り永遠に求められます。学校においてはもちろんであり、実社会においても、日々の生活においても学ぶ材料はいくらでもあります。夢を実現させていくため、

28期活動報告

30周年記念事業発足

- ・二月二十六日(水) 会計監査・役員会
- ・石上建設株式会社
- ・二月二十七日(木) 同窓会説明会
- ・母校第二体育館
- ・三月一日(土) 第二十八期飛翔OB会入会式(三・一四名)
- ・母校第二体育館
- ・三月二日(日) 第二十八回卒業証書授与式
- ・母校第二体育館
- ・三月九日(日) 第二十七回定例幹事会総会
- ・第二十七期会計報告、活動報告、第二十八期予算、活動計画審議の結果全会一致で承認されました。
- ・その他の事項では、2代目仙台支部長に4回生の小野 善一が承認されました。
- ・八戸福祉公民館
- ・新幹事歓迎会
- ・よねくらホテル
- ・三月十五日(土) 工大グループ同窓会連携検討役員会
- ・八戸パークホテル
- ・法人評議員会
- ・八戸パークホテル
- ・三月二十七日(木) 第一回吹奏楽部定期演奏会(広告協賛)
- ・八戸市公会堂
- ・三月三十一日(月) 十六年間、校長されていまして山田 静先生がご勇退されました。
- ・四月一日(火) 新校長に工大一高から大久保 和兼先生がご
- ・就任しました。
- ・四月四日(金) 第二十九回入学式
- ・母校第二体育館
- ・五月八日(木) 役員会
- ・石上建設株式会社
- ・五月十五日(木) PTA・OB会総会
- ・八戸パークホテル
- ・五月十七日(土) 二高後援会総会
- ・本後援会は、二高の教育活動の支援と、いつその発展を目的に、PTA、PTAOB会、同窓会の三組織から構成されています。
- ・総会では、決算報告、監査報告、予算の審議・承認され、最後に役員の変更が行われた。
- ・二高三十周年記念事業準備委員会
- ・八戸パークホテル
- ・五月二十三日(金) 法人評議員会
- ・八戸グランドホテル
- ・五月二十四日(土) 第二十六回関東支部同窓会
- ・ホテル聚楽
- ・六月二十一日(土) 第五回仙台支部同窓会
- ・仙台支部旗(大・小)贈呈式を行いました。
- ・六月二十四日(火) 第五回東京青森県人会友好団体交流会
- ・グランドヒル市ヶ谷
- ・七月十七日(木) 二高体育祭
- ・テニス部、水泳部、ゴルフ愛好会が東北大会出場、又全国大会出場のかるた部とフアッ



- ・シオン甲子園出場三年四組それぞれにお祝いとして金一封を送りました。
- ・母校グランド
- ・七月十九日(土) 同窓会三役会議
- ・大久保 和兼先生校長就任の歓迎会
- ・よねくらホテル
- ・七月二十日(日) 八工大一高東京支部同窓会 銀座 白いバラ
- ・七月三十日(水) デーリー東北新聞に暑中見舞い名刺交換広告記載しました。
- ・八月二日(土) デーリー東北新聞に同窓会納涼パーティ広告を記載しました。
- ・八月七日(木) 二高三十周年記念事業準備委員会



- ・八戸パークホテル
- ・八月九日(土) 第四回「光彩会」総会
- ・決算報告、活動報告、予算審議がなされ全会一致で承認されました。(会員数四十九名)
- ・第二十八回同窓会納涼パーティ
- ・八戸パークホテル
- ・八月三十日(土) 役員会・幹事会
- ・石橋 充志(5回生)が新幹事に任命されました。
- ・よねくらホテル
- ・九月三日(水) 二高三十周年記念事業発足式
- ・八戸パークホテル
- ・十月四日(土) 山田 静先生送別会
- ・十一月十八日(火) 工大グループ同窓会連携検討役員会
- ・八戸グランドホテル
- ・十一月二十一日(金) 青森県新人演奏会
- ・三浦 詩子(27回生)
- ・アルトサクソフオーン独奏



- ・十二月十九日(金) 二高校長室
- ・十二月二十五日(木) 二高経営協議会
- ・八戸市立美術館
- ・八戸ワシントンホテル
- ・一月二日(金) 七回生同期会
- ・一月三日(土) デーリー東北新聞に年賀名刺交換広告記載しました。
- ・一月五日(月) 法人評議員会
- ・八戸ブラザホテル
- ・ブラザーアーバンホール
- ・佐藤 真吾(24回生)ピアノ独奏
- ・八戸市公会堂
- ・十二月十五日(月) 全国甲子園ボスター金賞受賞の森 文恵さんにお祝いとして金一封を送りました。
- ・二高校長室

☆☆会員からのメール☆☆

鶴間 伸二(0回生)

相変わらず忙しいです。青森県警察本部勤務

柁沢 幸博(3回生)

名川デイサービスセンターで介護の仕事をしています。

佐藤 猛(6回生)

昨年、長男誕生！結婚一年目の第一子！横浜エレクトロン株式会社勤務

高江(小籠) 寿江(7回生)

昨年結婚し、福岡在住です。今年三月に男の子が生まれ、仕事は来年六月まで休むのでバリのアパートは引き払ってしました。八戸の涼しい夏が恋しいです。

伊東(杉本) 美紀子(10回生)

子育ても一段落し、十年ぶりにリゾートに出ています。充実した日々を送っています。

NBSリコー株式会社勤務

佐藤 勝也(12回生)

長女も小学三年生、なんとかあと一人子供をもうけ四人の父親を来年目指します。

働ながら経営

下村 晃一(12回生)

八戸市総務部秘書課に所属して市政の運営の仕事をしています。

八戸支庁勤務

八嶽(住吉) 貴子(13回生)

息子は幼稚園楽しく行っているけど、とうとう制服のズボンに穴をあけて帰ってきました。十二月長女出産し、忙しい毎日です。

豊川(久慈) 由紀子(13回生)

相変わらず五才の息子と幼稚園の役員に振り回されています。転勤で八戸に来て三年、そろそろ転勤かな？と思う今日この頃です。

駒崎(畑山) 綾子(13回生)

相変わらずユニードで頑張っています。休みが取れないので残念です。

横浜 ユニード勤務

杉若 安紀(16回生)

会報いつも楽しく拝見しております。八戸港湾運送株式会社勤務

佐々木(有澤) 美香子(16回生)

十二月に二人目を出産して育休中です。

十和田信用金庫六戸支店 勤務

高橋 陽子(17回生)

毎日忙しく働き、割と充実した日々です。同窓会では、皆様と会えることをとても楽しみにしております。

八戸広域農協本店勤務

小松 彰(18回生)

三戸郵便局、総務主任となりましした。三戸郵便局勤務

竹内(千葉) 頼子(19回生)

夫の転勤で札幌から川崎へ移動しました。

梅内 有希子(20回生)

地元のラジオ局で「まちづくり」の為に頑張っています。

柳ピー・エフエム勤務

畑山 祐佳里(20回生)

テロ事件後も、ニューヨークは何かと事件は多いですが、昔も今も変わらず、自分を磨く日々。自分が健康で、しかもニューヨークで今だに生活しているなんて我ながら感心しています。

壬生 綾子(22回生)

今年から趣味で家庭菜園をはじめました。野菜の成長を毎日楽しみにしています。

酒井 真由美(24回生)

介護福祉士として療養型病棟に就職し、早くも二年の月日が経ちました。忙しいながらも楽しくお年よりのお世話をさせてもらっておりまして。仕事の都合上、またまった休暇が取れないので、同窓会への参加ができませんが、皆様に宜しくお伝え下さい。

札幌 琴口イナル病院勤務

板橋 元子(25回生)

大学四年生になり、勉学と就職活動とを両立するのには苦労しています。

共立女子大学在学

木下 直美(25回生)

今年から卒業研究も始まり毎日夜遅くまで実験を行っています。毎日が充実し過ぎています。

日本大学在学

川口 美耶(25回生)

四年生になり就職活動のピークを迎えています。早いものでもうこんな時期になったのかという気持ちです。

茨城大学在学

上野 直輝(26回生)

子供会での経験を生かして学童保育の仕事をしています。保育士試験はこれからです。

中居林保育園勤務

芳賀 乃里子(26回生)

短大卒業後、広告代理店に勤めています。またまだ学ぶ事ばかりですが、

頑張ろうと思います。

札幌(有)エルム企画勤務

細越 由香里(26回生)

今年、高看生となり、正看護士目指して勉強中です。平日以外は、杏林会・リハビリパークで働いています。

新井谷 麻衣(27回生)

今は夏休み中にある栄養士実習と、ホームヘルパー二級資格取得の為に毎日がんばっています。

東北女子短期大学在学

本木 望(27回生)

納涼パーティーの知らせがきました。この知らせで、もう一年たったんだなと感じました。今はすぐ元気に過ごしています。又、いろんな人に会いたいです。

県立会津大学短期大学部 在学

松坂 真吾(28回生)

夏休み、九州を自転車で行く予定です。

岩手大学在学

南山 明子(28回生)

今は勉強が楽しくてしょうがないという状態になっています。好きな事をできるのは本当に幸せなんだなと実感しています。何年経っても忘れちゃいけないと思います。今回は忙しくて参加できませんが、次回先生方や友達に会えるのを楽しみにしています。

静岡 日本大学在学

橋本 真由美(28回生)

覚える事が多く大変ですが、毎日頑張っています。

東京 ライト製作所勤務

〇高江 寿江(7回生)

〇秋山 統子(15回生)

〇奥山 正一(15回生)

〇櫻並真知子(17回生)

〇奈良絵理香(17回生)

〇吉村久美子(20回生)

〇三浦 順子(4回生)

〇親良 向井(旧姓 平沼)

〇吉村久美子(20回生)

〇親良 向井(旧姓 平沼)

〇三浦 順子(4回生)

〇親良 向井(旧姓 平沼)

〇吉村久美子(20回生)

〇親良 向井(旧姓 平沼)

〇三浦 順子(4回生)

〇親良 向井(旧姓 平沼)

〇吉村久美子(20回生)

〇親良 向井(旧姓 平沼)

〇三浦 順子(4回生)



OB会メンバーの集合写真

三十周年記念 事業についで

専務理事 石塚利孝



来年、平成十七年に八戸工業大学第二高等学校は、創立三十周年を迎えます。

昭和五十年、大開の地に開学した二高は、掲げる教育理念の実践と地域社会の要望に応えるため、多くの困難や課題を克服しながら、良き校風と伝統の確立に努めてきました。

創立以来、今日まで八千名に及ぶ卒業生を世に送り出し、その活躍は広く各界、各層におよんでいます。

のため、数人の同窓会役員の皆さんに記念事業協賛会役員への就任をお願いしました。

- 会長 堀合 勝美
- 副会長 清沢 正
- 熊谷 雄一
- 住吉 治彦
- 石上 正則
- 顧問 山田 静

このように、同窓会から熊谷、住吉、石上の三氏が副会長に就任した他、田野岡嗣典、佐々木睦生、関野洋史の三氏が幹事に就任いたしました。

創立三十周年の記念式典と祝賀会は、平成十七

新仙台支部長になって

仙台支部長 小野善一



この度仙台支部長に就任致しました第四回卒業生小野善一と申します。

世の中不景気と言われ続けもう何年経ったでしょう。最近ではテロの問題やら小学生暴行事件など悲しい記事が新聞紙上を飾っています。

何か心まで貧しくなってきましたね。

「あの時代に戻りたい」そんな思いを抱いて毎日働いている方はいませんか？多分沢山いらっしゃるのではないのでしょうか。しかし実際にその時代に戻る事は不可能です。

でもそれに近い事は出来ると思いませんか？たとえば同級生に会うとか、お世話になった先生に会うとか、長い歳月を過ぎても会えば不思議と恥ずかしかったり照れくさかったり何か当時の匂いを感じたりします。

うれしい事に二高には「光彩会」と言うものがあります。八戸・関東・

仙台・各支部が存在致します。ぜひ一度参加され先生や級友に会って当時を思い出しながら心を癒してまた「明日も頑張るぞ」と言うのも素敵じゃありませんか？

仙台にも沢山の二高卒業生がいらつしやいます。今のところ同窓会参加者は少ないですが、小さいながらも当時の思い出に浸れるそんな玉手箱の様な会にして行きたいと思っています。まだ参加されていない方も友達を誘って是非一度覗いて行かれてはいかがですか？

年十月上旬を予定しています。また、いくつかの記念事業が計画されています。記念式典、祝賀会、その他の記念事業は、関係諸団体を中心に記念事業の趣旨に賛同していただいた法人・個人からの寄付金でまかなわれることとなります。

募金目標の総額は二千六百万円であり、そのうちの三百万円を卒業生および同窓会本部からの寄付金でまかなえればと考えています。

寄付をお願いするには心苦しい経済不況が続いておりますが、私立学校を取り巻く環境の厳しさをご理解いただき協力いただければ幸いです。

なお、募金のお願いは、必ず学校名を明記して郵

送で行います。電話ではお願いは絶対に行いません。詐欺行為に十分お気を付け下さい。また、同窓会名簿の作成も行いませので、電話番号や住所の問い合わせもありません。ご注意下さい。

物故者

- 上岡谷幸雄 (0回生)
 - 久保沢雅庸 (1回生)
 - 及川 厚子 (10回生)
 - 中村 由香 (20回生)
 - 古川 令 (23回生)
 - 坂下真紀彦 (23回生)
 - 佐藤 裕 (26回生)
 - 江畑伊久磨 (27回生)
- 冥福をお祈り致します。

高校生活

花田 義紹

私は二高に入學し、部活・勉強・検定など色々な事に取り組んできた。中でも部活動に力を入れた。私はテニス部に所属し、その練習の質の高さに驚いた。ストレッチから始まり、ランニングに基礎練習、ここまで徹底しているのは今まで経験したことがなかったからである。このような練習を毎日こなしていくうちに私はより一層テニスというものに、興味と熱意が湧いてきたのである。この練習のおかげで私は継続する力や集中力

卒業生からの声

——二高での三年間——

平賀麻衣子

二高での三年間の生活の中で、私の一番の思い出は生徒会だ。私は二年生の時、担任の先生に生徒会を勧められた。私の中で生徒会は憧れだったのでとても嬉しかった。入ったばかりの頃は何かやらねばいいのかわからず、先生の指示を受けてから動いていた。しかし、活動に慣れてくるにつれて、自分から動けるようになっていった。そして三年生になり、最大のイベント、二高祭の準備が始まった。だんだんと昼休みと放課後の

活動が忙しくなり、生徒会の大変さが見えてきた。しかし、大変さの中に充実感もあった。二高祭は大成功に終わった。苦労した分、達成したときの喜びは大きかった。生徒会活動を通して、人の前に立つ者の大変さや最後までやり遂げた時の達成感を学ぶことができた。そして今まで自分にはなかったものを苦労の中から見つけることができた。二高でこのような貴重な経験ができて良かったと思う。この経験を生かして大学生活も楽しく充実させて過ごしたい。



活躍する先輩たち

同窓会幹事 田 中 洋 (19回生)



現在、私は母校である工大二高に勤めており、五年目になります。教科は英語、二年二組の担任をしています。

今年の工大二高は、野球部が県ベスト四に入り、部活動は大いに盛り上がりました。また、フアツション甲子園では、三年二組の生徒達が全国第二位、来年度の夏の甲子園ポスターでは、美術コースの森文恵さんが最優秀賞を受賞するなど、県内のみならず全国に名を轟かせました。二高生の勢いを感じた年でした。

私自身の最も印象に残っていることは夏期語学研修です。以前はカナダでの研修でしたが昨年度よりオーストラリア・ブリスベン校外のローズウッドで行われております。七月十一日から八月二日のおよそ三週間、生徒十六名、引率教員の萩原先生と共に参加しました。

自然豊かで、広大なオーストラリアは人間までも大きいように思えました。多くの人達に出会いましたが、どこの人達も気さくで親切で困ることと言えば、開催目的の一つであるコミュニケーションシヨングラウンドだと思えます。参加者はそれぞれ様々な事を経験し、困難な状況におかれたことは確実にあったようでした。

が、みんな参加して本当によかった、今度は是非、自分一人で訪れたいと声を揃えて口にします。この三週間は困難な状況を自分で解決していかなければならぬという点では精神的に自立できたと感じます。

加えて、家族というものの、あり方を改めて考えさせられました。両親共働きで家族のコミュニケーションシヨンの取りづらくなっている日本ですが、家族一人ひとりがそれぞれ役割を持ち、必ず両親は子どもに今日一日の出来事や食事を一緒に話をしながら取り、誰かが問題を抱えていると家族全員で問題解決しようとする。家族の繋がりの強さを感じました。

参加生徒を始め私は描ききれないほどの体験を日々し、充実した毎日を通すことができました。生徒にとっては今後の進路選択、人生設計に影響を与える、とても素晴らしい研修になりました。

このように工大二高の生徒は毎日、様々な体験をし、日々成長しようとしています。私は母校でもある工大二高の発展に直接携わっているわけですから今後とも努力していく次第です。同窓会の皆様からの今後とも変わらぬ御協力よろしくお願います。



事務局より



最近新聞、TV等をはじめ、速やかに同窓会事務局へご一報下さい。

同窓会をかたり、会費を口座に振り込むことで懇親パーティーの出欠をとる、というものです。当会は納涼パーティー等の参加費は、当日会場へ持参という形を取っております。口座振込みによるお願い致します。

出欠の確認はいっさい行っておりません。又、協賛金等の電話による依頼もしておりませんので、くれぐれもご注意ください。

近年、市町村合併に伴い、住所表示を変更している地域が増えております。住所変更された場合は、

同窓会事務局
事務局長 住吉 治彦
〒031-0001
八戸市類家五十二六一〇
電話・FAX
〇二七八一四六一五七一
Eメール
smys5061@hnet.ne.jp

平成十六年度同窓会 新幹事決定

- 平成十六年度卒業生(二十九回生)の中から、三十九名の同窓会幹事が選出されました。
- (関東支部幹事)
- 一組 小島 貴幸
 - 二組 松本 貴徳
 - 三組 坂中 翔悟
 - 四組 田藤 彰裕
 - 五組 高田 泰裕
 - 六組 大島 理史
 - 七組 岩淵 結美
 - 八組 鳥谷 夏美
 - 九組 引敷 麻利子
 - 十組 山地 弘享
 - 十一組 沼地 未緒
 - 十二組 沼村 美月
 - 十三組 木村 李沙
 - 十四組 演欠 李沙
- (仙台支部幹事)
- 一組 安田 翔太
 - 二組 中山 尚
 - 三組 平賀 麻衣子
 - 四組 山本 和也
 - 五組 大山 忍
 - 六組 山本 和也
 - 七組 大山 忍
 - 八組 軒山 忍
 - 九組 島浦 淳也
 - 十組 夏井 政行
 - 十一組 門井 知世
 - 十二組 小比類 彩乃
- (八戸支部幹事)
- 一組 工藤 将宏
 - 二組 石橋 昌子
 - 三組 工藤 雅子
 - 四組 浅藤 憲子
 - 五組 宇田 恭子
 - 六組 佐藤 飛鳥
 - 七組 伊藤 優佑

- 一組 大井 直人
 - 二組 清川 慎也
 - 三組 石川 慎也
 - 四組 押川 真衣
 - 五組 左川 千春
 - 六組 中屋敷 千春
 - 七組 武部 由佳
 - 八組 林 由佳
- 第二十七回同窓会
関東支部総会
◎平成十六年五月二十二日(土) 十八時開会
◎ホテル聚楽
(東京都千代田区神田 淡路町二一九)
◎電話(〇三三) 三二五一七二二三
◎会費 二千元
- 第六回同窓会
仙台支部総会
◎平成十六年六月二十六日(土) 十八時開会
◎笑笑(わらわら)
(宮城県仙台市青葉 中央一九一-一 新東北ビル地下二階)
◎電話(〇二二) 二二一三六七八
◎会費 二千元
- 第二十九回同窓会
納涼パーティー
◎平成十六年八月十四日(土) 十八時三十分開会
◎八戸パークホテル (八戸市吹上二一五 一九〇)
◎電話(〇一七八) 四三一一一一
◎会費 二千元

二高の1年

二高では今年、山田静前校長先生が退職され、新たに就任された大久保和兼校長先生のもとで、新たな二高の歴史が始まりました。また、野球の名指導者でもある藤田長一先生が二名の教頭先生の一人として赴任されました。



母校の学舎を巣立ち、二高の近況を知りたいと思われている会員の方も多いのではないのでしょうか。この一年の出来事を報告したいと思います。
 (四月) 四日に三〇〇名の新生を迎え、入学式が実施されました。三十一回生の入学です。
 十七日と十八日の二日間にかけて、国立岩手山青年の家において新入生の合宿研修会が実施されました。この研修会は、二高生としての自覚と心構えを身に付けると共に、

高校生活のあり方と将来の目的を考えるために行われています。
 二十日には昨年に引き続きNSPが実施されました。また、二十日にはPTA総会が行われ、その場で同窓会事務長である住吉治彦さんが、PTA会長として就任致しました。
 (五月) 十二日と十三日の二日間にかけて、美術コースの校外スケッチが蕪島で行われ、日頃描くことの少ない風景画を制作する貴重な機会となりました。

三十日には第五九回冬季団体のポスターに美術コース三年の夏坂理恵さんが、シンボルマークには同じく美術コース三年の石亀泰広君の作品が最優秀賞に選ばれ、授賞式が行われました。
 (六月) 六日から九日まで八戸市を主会場に県高校総体が行われ、二高からは十二競技、約四百名の選手が参加し、開会式では一〇九名の選手団が堂々の行進を披露しました。その中でもテニス、サッカー、ラクビー、男子バドミントンの活躍が著しく、特に個人戦一位と二位を揃える西高を後

一步まで追いつめた男子テニスは、胸を張って誇れる準優勝を獲得しました。また、高校総体のポスターでは美術コース二年の森文恵さんが最優秀賞を受賞して採用されました。これで美術コースのポスターは九年連続十回目の採用となります。
 二十四日には情報ビジネスコース二年生を対象に、総合的な力を養うための人文社会体験学習が実施され、その一環として八戸市博物館や根城史跡の見学会が行われました。

さんが優勝しました。岩淵さんは昨年の新人戦から四大会連続の優勝で、県内四冠を達成しました。また、一年の西館章代さんが二位に、高校男子の部では二年の石鉢涉君が五位に入賞する健闘を見せました。
 九日にはファッション甲子園の最終審査で「三年二組」チームが準優勝に輝きました。

(九月) 二十二日から始まった秋季県大会において、二高の野球部が創設以来初のベスト四に入る健闘を見せました。二十七日に行われた準決勝では、一高との兄弟校対決が実現し、惜しくも敗れました。東北大会出場まで後一步と迫る実力を身に付けた野球部の活躍が期待されます。
 (十月) 十八日に情報ビジネスコース一年生による福祉施設訪問が実施され、特別養護老人ホーム「瑞光園」を訪れました。二十四日から二十六日にかけて弘前市を主会場に青森県高等学校総合文化祭が開催されました。小倉百人一首では、かるた部三年の亀掛川碧さんが

一年の住吉貴恵さんが、一年の館知見さんが、放送部の朗読部門では二年の駒目仁美さんが、二年の相良明美さんがそれぞれ東北大会への出場を決める健闘を見せました。
 (十一月) 十二日に世界的な数学者であるピーター・フランクルさんをお招きして文化講演会が実施されました。生徒たちは見事な大道芸に目を見張ると共に、「時間は誰にでも平等に与えられている。自分の最大の資源である時間を有効に使って欲しい。そうすれば人生は楽しくなるはずだ。」との言葉にうなずきながら聞き入っていました。
 (十二月) 十九日から二十二日まで、八戸市美術館にて美術コースの作品展が実施されました。



八月) 夏ゼミが実施されたのは勿論のことですが、恒例の合宿勉強会が、二年生は五日から八日まで、三年生は一八日と一九日に行われました。
 五日には青森県ジュニアゴルフ大会兼団体選手選考会が行われ、高校女子の部で三年の岩淵結子

さんが優勝しました。岩淵さんは昨年の新人戦から四大会連続の優勝で、県内四冠を達成しました。また、一年の西館章代さんが二位に、高校男子の部では二年の石鉢涉君が五位に入賞する健闘を見せました。
 九日にはファッション甲子園の最終審査で「三年二組」チームが準優勝に輝きました。

(九月) 二十二日から始まった秋季県大会において、二高の野球部が創設以来初のベスト四に入る健闘を見せました。二十七日に行われた準決勝では、一高との兄弟校対決が実現し、惜しくも敗れました。東北大会出場まで後一步と迫る実力を身に付けた野球部の活躍が期待されます。
 (十月) 十八日に情報ビジネスコース一年生による福祉施設訪問が実施され、特別養護老人ホーム「瑞光園」を訪れました。二十四日から二十六日にかけて弘前市を主会場に青森県高等学校総合文化祭が開催されました。小倉百人一首では、かるた部三年の亀掛川碧さんが

一年の住吉貴恵さんが、一年の館知見さんが、放送部の朗読部門では二年の駒目仁美さんが、二年の相良明美さんがそれぞれ東北大会への出場を決める健闘を見せました。
 (十一月) 十二日に世界的な数学者であるピーター・フランクルさんをお招きして文化講演会が実施されました。生徒たちは見事な大道芸に目を見張ると共に、「時間は誰にでも平等に与えられている。自分の最大の資源である時間を有効に使って欲しい。そうすれば人生は楽しくなるはずだ。」との言葉にうなずきながら聞き入っていました。
 (十二月) 十九日から二十二日まで、八戸市美術館にて美術コースの作品展が実施されました。

